

北栄町議会議長 津川 俊仁 様

北栄町議会議員 蓑原 美百合

会議・研修等 報告書

1 日 時	令和5年8月7日（月）午前・後1時30分～4時00分
2 場 所	「溪泉閣」東伯郡三朝町
3 名 称	令和5年度鳥取県町村協議会広報研修会
4 出席者	鳥取県町村議会議員・議会事務局員 54名
5 内 容	1 開会 2 会長挨拶 若桜町議会議長 山根 政彦氏 3 研修「住民に読まれ、伝わる 議会の見える化へ」 講師 議会広報サポーター 芳野 政明氏 POINT は4項目 1. 「議会だより」発行の意義・目的 議会は行政の活動を監視し、政策を提言する、住民意見を反映。 住民のヒロバである。 審議、決定の内容や経過を住民に説明する。 意見交換会など各種広聴ルートで住民対話を進める。 ①誰のため、何のための議会広報か 「民意の反映と意思決定過程」の可視化。 住民の自治体政策に関する判断材料の充実 自治体広報の3つの分野として、 行政サービス広報・政策広報・地域広報がある。 自治体の情報発信は住民の行動を「促す」手段 ②住民と議会の関係性、信頼関係を築く 議会の議事を公開し、説明責任を果たす。 ③情報共有から参加・協働へ 住民の自治意識の醸成へ貢献する「議会たより」へ 2. 議会広報の編集方針、企画・編集 ①編集方針を持ち、ねらいを持った企画編集を実践する 住民参加・民意反映の紙面、議案審議の可視化、一般質問、 議会活動の記事と特集・シリーズ・独自企画 ②住民の関心、「知りたい」テーマを優先掲載 ③住民との情報共有へ、各種媒体の活用 ④読者の評価・提案を受け、次回に反映をする

3. 伝わる広報へ編集スキルアップ

(読みやすく、わかりやすく)

① ページネーション (ページ割表)

② 読者をひきつける“ツカミ”、読者の視線を誘導

③ 「何を」「どのように」伝えるかの紙面づくり (ラフレイアウト)

④ 読みたくなるレイアウト

タイトル (見出し、リード文) 本文 (記事、付属資料類)

ホワイトスペース (余白) ビジュアル (写真や図版、イラスト)

見出しは 10 字前後 (15 字以下は一瞬で読み切れる範囲)

“NG 見出し”

～について見出し、金額見出し、名称見出し、議案名見出し

戒名見出し、概要見出し、総論見出し、長々見出し

⑤ レイアウト 5 つのタブー

写真ゼロ、外向き写真、ノド・閉じ穴との重なり、見出しが縦に直列、両流れ・飛び越え

⑥ 写真キャプションを的確にし、写真への理解を促す

「何を意味するか」「どんな意義か」を出す

⑦ 洋数字使用ルールを守る

4・コンテンツ別の進化を見る

住民に議会が伝わる企画編集

① 手に取りたくなる表紙 (住民登場、季節感、メッセージ性等)

② 予算・決算は議会報告で最重要企画

予算審査・討論などの議事公開、決算審査し「認定」だけに終わらせない。「効果」「評価」「課題」を明らかにする。

4 閉会

6 所 感	80 ページに及ぶ資料をもとに研修を受けました。 議会広報について学ぶ前に、地方議会の本来の課題とは、単なる議事機関ではない、情報・意見の集約機構としての議会であることを再確認しました。 より幸福感を持って暮らし、持続可能なまちをつくる基本理念。住民による自治、さまざまな主体による協働の基本原則を軸に「議会たより」が今後、住民の皆さんへわかりやすくお伝えでき、議会活動がわかるように、伝わる様に今回の研修を議員活動に活かしていきたいと思います。
-------	--

提出期限 令和5年8月25日（金）まで